

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「クラフトのまち・まつもと」推進事業
事業主体 (連絡先)	クラフトのまち・まつもと実行委員会 (松本市中央3-1-8 TEL: 0263-31-8121)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,940,921円 (うち支援金: 1,455,000円)

事業内容

- ① ワークショップなどイベントの開催
作るだけで終わるのではなく、使うことも一緒に体験してクラフトの良さや面白さを感じられる「作って使おうワークショップ」を4回開催しました。
今年度はクラフト作家グループによる、紙・陶器・写真などを組み合わせた作品や、地元の陶芸作家の器を用いたキャンドル制作など、さまざまなコラボレーションを実現することができました。



- ② フリーペーパー「クラフトのまち・まつもと」の制作
昨年、一昨年度制作したマップを拡張するかたちで、フリーペーパーの制作を行いました。
マップやギャラリー・飲食店情報だけではなく、「クラフトフェアまつもと」や「工芸の五月」といった、「クラフトのまち」の背景となっている活動取材し、立ち上げの経緯や関わる人たちの思いを掲載しました。



- ③ ウェブサイト「まつもとクラフトナビ」の充実
一昨年度制作したウェブサイトのコンテンツを充実させながら、引き続き運用を行いました。
参加店舗も増え(ギャラリー4)、更なる情報発信に力を入れています。



※事業内容について詳細は別紙をご参照ください。

自己評価 (事業実施率) 【A】

事業効果

今年度は、雑誌「KURA」の企画「阿部知事が行く～地域を彩る信州人編～」の取材で、本事業の取り組みや、情報発信について阿部知事とお話をさせていただきました。県としても「クラフト」を資源としてとらえ、今度もブランド力を高めていってほしいとご意見をいただきました。

「まつもとクラフトナビ」は順調にアクセス数が伸びています(PC:前年度比 130%、スマートフォン:同170%)。今後も情報提供に努めたいと思います。

フリーペーパー「クラフトのまち・まつもと」は、これまであまり知られていなかった、クラフトフェアや工芸の五月の背景なども伝えることができ、街歩きだけではなく、街を知ることにもつながりました。

ワークショップは、作家同士のコラボなど他ではなかなかできない企画を行うことができました。伝統工芸・松本箆をショールームのリビングで作るという、場所との組み合わせも新鮮で、好評を得ました。



阿部知事に「まつもとクラフトナビ」を説明

【目標・ねらい】

- ワークショップ参加者の増加
- ウェブサイトアクセス数の増加
- 参加店、情報掲載店の増加

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

元気づくり支援金により支援を受けた3年間の取り組みをベースに、今後は以下の活動を引き続き行いたいと考えています。

- クラフトにまつわる情報発信
「まつもとクラフトナビ」の運営
- 地域でクラフト活動を行っている人たちを支える活動
本事業の目的を理解し、一緒に「クラフトの魅力」の伝え手として参加する店舗を増やす
- クラフトを気軽に楽しめる場の提供
ワークショップの開催や作家同士、作家とギャラリーなどをつなげる機会づくり

四半世紀をかけて広がってきた松本の「クラフト」をさらに広げていくためには、一時的なものではなく、松本という地域が持つ資源、魅力として大きな柱の一つと位置付け、「クラフト」を確立していくことが必要です。3年間の活動を経て、その魅力を伝えることは大きな意味があると確信しました。今後も、クラフト作家やギャラリーなどクラフト活動に携わる人たちとともに、情報発信や多くの人が参加できるワークショップなどのイベント、さらにいずれは「空き店舗活用事業」など長期的なものも視野に入れ、地域にしっかり根を張った「クラフトのまち・まつもと」となるような活動を続けていきます。